

在シドニー総領事交流録 （第9回） 姉妹都市

着任から約1年経ち、10月に着任以来初めて帰国しました。その機会にリズモア市の姉妹都市である大和高田市、そしてシドニー市の姉妹都市である名古屋市の市長をそれぞれ表敬しました。

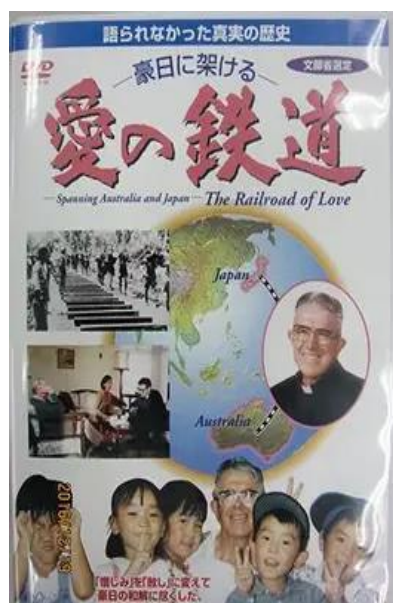
ニューサウスウェールズ（NSW）州と日本の間には姉妹都市関係を結んでいる39もの自治体があるのを皆さんご存知でしょうか（詳細は以下参考資料ご参照）。今回は、大和高田市と名古屋市、そして私がこの1年で表敬したNSW州の姉妹都市などについて振り返ってみたいと思います。

●大和高田市&リズモア市

まず、大和高田市です。奈良県の同市がクィーンズランド州との州境近くにあるNSW州北東部のリズモア市と1963年に日豪最初の姉妹都市関係を結んだことは、第7回交流録でご紹介しました。では交流はどのように始まったのか。これはリズモア出身のマーズデン神父に遡ります。同神父は第二次大戦中に日本軍の捕虜となり、泰緬鉄道建設で従軍司祭となりました。戦後、日本への憎悪を抱く豪州軍人に接する中で、日本との和解が必要であると信じ、1949年に日本に渡ります。マーズデン神父の高校の後輩にあたるトニーとポールのグリーン兄弟は同神父の取組を知り、感銘を受けた結果、それぞれ神父となり、1953年と1955年に訪日します。兄のトニー・グリーン神父は、奈良教区司祭として地元の福祉事業に取り組みながら、豪州軍人が持ち帰った日本刀の返還事業や、日豪各地での仏教・キリスト教合同慰霊祭など、日豪和解を推進する様々な活動を行いました。1994年に日本で68歳で亡くなった時には御葬儀に多くの方が訪れたとのこと。また、弟のポール・グリーン神父は奈良県大和高田市の高田カトリック教会に赴任しました。そして日豪の間で姉妹都市がないことを知り、出身地リズモア市と大和高田市の間で姉妹都市提携を仲介、1963年に実現に至りました。ポール・グリーン神父はトニー・グリーン神父の伝記など多くの本を執筆し、現在はシドニー近郊に住んでおられ、現在97歳になられます。昨年12月に私も御挨拶させていただきました。グリーン神父兄弟のこうした活動は「愛の鉄道」という映画でより深く知ることができます。



ポール・グリーン神父と



「愛の鉄道」のDVD

こうした経緯を踏まえ、私は 10 月中旬に大和高田市近郊に眠るトニー・グリーン神父のお墓参りをするとともに、大和高田市役所に伺いました。

市役所では堀内大造市長を表敬し、私がこの 6 月にリズモア市を訪問し、スティーブ・クレイグ・リズモア市長に表敬したこと、同市のランタン・パレードで大和高田市のマスコット「みくちゃん」のランタンを担いだことなどを報告し、堀内市長のリズモア訪問のタイミング等、姉妹都市関係の更なる発展に向けて意見交換をしました。



大和高田市堀内大造市長と



リズモア市のランタンパレード、大和高田市のマスコット
「みくちゃん」のランタンと



スティーブ・クレイグリズモア市長と

●名古屋市&シドニー市

その後、シドニー市の姉妹都市である名古屋市に向かいました。姉妹都市提携 45 周年を記念してシドニー市から来訪したロバート・コック市議が率いる公式派遣団が広沢一郎市長を表敬するのに同席するためです。名古屋市はとりわけ地元中小企業の豪州進出を応援しているということで、姉妹都市関係と経済交流が補完し合っている好例と言えます。表敬の場では、1980 年に遡る姉妹都市関係の教育・動物・文化・スポーツなどの様々な分野での活発な交流が振り返られるとともに、10 月 25 日と 26 日にシドニーで開催される Japan Expo の準備に携わるシドニー・名古屋姉妹都市委員会のウォーウィック・ミラー委員長もその場に同席され、広沢市長率いる名古屋市派遣団のシドニー訪問に向けて歓迎と期待が伝えられました。また、この表敬後は、シドニー市派遣団に同行して、シドニーのタロンガ動物園と姉妹動物園である東山動植物園を訪問し、立派なコアラ舎を見学、そして、その後は、松雄俊憲副市長、さわだ晃一市議会副議長も参加された姉妹都市関係 45 周年記念植樹式にも陪席しました。その晩開催された名古屋市長主催の歓迎式では、西川学市議会議長や、この 7 月にシドニーを訪問した名古屋の高校生達とも話すことができ、将来世代も含めた交流が活発に行われていることを実感しました。



シドニー市派遣団の広沢名古屋市長表敬



名古屋シドニー姉妹都市提携 45 周年記念植樹式

今回の私の帰国時の姉妹都市訪問の様子は以上です。

これまでの交流録と一部重複しますが、私がシドニーに着任した昨年10月以降に訪問したNSW州の姉妹都市についても、この機会に振り返りたいと思います。

●ダボ市&美濃加茂市

まず、着任早々の10月下旬、シドニーから西へ約400キロにある交通の要衝、ダボ市を訪れ、美濃加茂市との姉妹都市35周年を祝う、ジョシュア・ブラック市長主催の夕食会に参加しました。この式典には藤井浩人美濃加茂市長率いる派遣団が参加されましたが、加えて、学校間交流で美濃加茂市を訪問したダボ市の高校生たちが美濃加茂市での経験をとても懐かしがっており、印象的でした。その翌日、私は美濃加茂市から寄贈された日本庭園を訪問しました。この庭園は、姉妹都市関係の象徴として、また、ダボ市民の憩いの場として親しまれています。美濃加茂市出身の作家、坪内逍遙氏にちなんで名付けられた、茶室「逍遙園」が庭園内にあり、思いがけず、本格的な日本茶と茶菓子をいただくなど、素晴らしい体験をしました。



逍遙園の入り口の前で



藤井浩人美市長・ジョシュア・ブラック市長と

●ニューカッスル市&宇部市

次にニューカッスル市です。私は、この2月にロス・ケリッジ市長を表敬しました。ニューカッスル市はシドニーからは北東に車で2時間余りのところにあり、その港は石炭の一大輸出港として有名で、日本とは長年の経済関係があります。

ニューカッスル市は山口県宇部市と今年姉妹都市提携45周年を迎えました。セメント産業で有名な宇部市は豪州から石炭を輸入していたこと、近代的臨海都市としての類似性があるといったことなどから、1980年に姉妹都市を提携したとのことです。本年10月には、ニューカッスル市議会から議員が宇部市に派遣されたのに加えて、ニューカッスルで開催された日本語スピーチコンテストで優秀成績を収めた高校生連が宇部市に招待されています。昨年2月には日本大学が、文化遺産登録されている旧ニューカッスル裁判所の建物を購入し、同大学初となる海外校を開校しました。今後、学生間交流が更に活性化することを期待しています。なお、多くのワイナリーで有名なハンター・バレーもニューカッスルからの近くに位置します。

ニューカッスル市はまた、脱炭素の流れが進む中、新エネルギーの導入にも積極的に取り組んでいます。ニューカッスル港では、連邦政府が資金支援をする水素製造プロジェクトが日本企業からの助言も得ながら進められ、ニューカッスル大学では、エネルギー・資源研究所（NIER）やイノベーション研究施設が設置され、製造業向けの研究開発が積極的に行われており、高い技術力を持つ日本企業に熱い期待が寄せられています。



ロス・ケリッジ市長と



ニューカッスル港の上空からの光景

●ウィロビー市&東京都杉並区

ウィロビー市は北シドニーのチャッツウッド、セントレナーズ、アーターモン、ノースブリッジなど在留邦人の多い地域です。

同市と東京都杉並区は 1990 年以來姉妹都市交流を行っています。この 6 月、私は、ターニャ・テイラー市長を表敬しました。杉並区は、中学生海外留学事業として、毎年 8 月に中学生 25 名をウィロビー市に 2 週間派遣し、現地校体験やホームステイ、総領事館・企業訪問などを行っています。また、チャッツウッドでは、毎年ウィロビー市が主催するエマージ祭の一環として、シドニー日本クラブ (JCS) が祭りジャパンフェスティバルを開催しています。本年は 9 月にジャパンフェスティバル 10 周年が開催され、私もテイラー市長とともに鏡開きに参加するなど、お祭りの熱気を楽しんで参りました。



ターニャ・テイラー市長と



JCS Japan Festival in Chatswood 10 周年の鏡開き

●ペンリス市&藤枝市・白山市

ペンリス市はシドニーから西に 55km に位置し、ブルー・マウンテンのふもとにあります。来年開港予定の西シドニー国際空港から車で 30 分ほどのところにあり、商業地として、また住宅地としても急速に発展しています。そして、全豪に勇名を馳せているナショナル・ラグビー・リーグ強豪のペンリス・パンサーズの拠点です。

このペンリス市は、静岡県藤枝市との姉妹都市提携が 41 周年、そして石川県白山市との姉妹都市提携が 36 周年を迎えました。藤枝市と白山市が友好親善都市であることも御縁として、3 市の間で友好親善関係が培われています。

この 8 月にトッド・カーニー市長が主催された姉妹都市歓迎夕食会には、藤枝市からは多田晃市議会議員一行が、白山市からは中野進市議会議員一行が出席され、私も陪席しました。ペンリス市長に対して、私からも、ペンリス市と両市が長年にわたり交流を深めてこられたことに深く敬意を表し、西シドニー空港の開港でペンリス市と日本の距離が縮まり、日本との交流が更に活発になることを願うとお伝えしました。



藤枝市多田晃市議会議員、トッド・カーニー市長、白山市中野進市議会議員と

●ウーロンゴン市&川崎市

ウーロンゴン市は、シドニーから南に約 80km に位置する港湾都市です。石炭採掘と鉄鋼業で発達した街で、ポートケンブラ地区には豪州最大の製鉄会社ブルースコープ社の工場が立地しています。綺麗なビーチも多く、市内にはあちらこちらに自転車道が設定されるなど、サイクリングが盛んな都市です。

このウーロンゴン市は川崎市と 1988 年から姉妹都市関係にあります。私が 11 月下旬にタニア・ブラウン市長を表敬した際、同市長は 10 月に川崎市を訪問されたばかりとのことで、日本語で挨拶され、川崎訪問について楽しそうに話してくださいました。ウーロンゴン市と川崎市との間では毎年オンライン交流会が開催されており、こちらに川崎ジュニア文化賞（川崎市内の小学校 5・6 年生を対象とした作文と絵画のコンクール）の大賞受賞者も招待されるとのことで、本年はそこにブラウン市長自身も参加されたとのことです。今後はスポーツ交流を広げていきたいとの意欲を示されており、更なる交流の発展を期待したいと思います。

ウーロンゴンの特色をもう一つ紹介すると、ウーロンゴン大学には、メイン・キャンパスに加えて、イノベーション・キャンパスが設置され、多くの研究施設が置かれています。さらにイノベーション・キャンパスには、豪州海洋資源・安全保障国立センター（Australian National Centre for Ocean Resources and Security (ANCORS)）が置かれており、そちらでは海洋法・政策、海洋安全保障の他に大洋州諸国や東南アジア各国への人材育成にも取り組んでいるとのことで、日本の海上保安庁からも博士課程に海上保安官が派遣されるなど、近年の豪州周辺の海洋の安全が不安視される中で、その役割が大きくなっているとの説明がありました。



タニア・ブラウン市長と



ANCORS との意見交換

●カウラ市

最後にカウラ市です。カウラ市は日本との豪州の戦後和解のシンボルといえる街ですが、実は日本のどこの自治体とも姉妹都市関係を結んでいません。昨年11月に初めてカウラ市を訪問した際、ポール・スミス市長から、カウラ市は日本全体と交流しているので、特定の市を姉妹都市とはしないとのお話を伺いました。それではなぜここで取り上げるのかと思われるかもしれませんが、豪州と日本との関係を語る際にカウラに触れない訳にはいかないとの思いから、以前の交流録と重複する部分もありますが、カウラの話で締めくくらせていただきます。

カウラ市はシドニーから西に310kmのNSW州内陸部にある人口約1万3千人の小都市です。第二次世界大戦中この地に捕虜収容所が置かれ、1944年に日本人捕虜が集団脱走して日本人234名とオーストラリア兵4名が犠牲となりました。戦後、1964年に日本人戦争墓地が設置され、その後も日本庭園の開設や桜の植樹、様々な日豪草の根交流事業などが行われてきました。

カウラ市には、日豪間の戦争と和解、相互理解と交流の歴史が、地域の住民により目に見える形で大切に保存され、今も、集団脱走事件が起きた8月5日には毎年慰霊式典が、そしてカウラ日本庭園・文化センターでは5月に「紅葉祭り」、そして9月には「さくら祭り」が開かれ、日本文化を代表する各種催しが行われています。

こうした長年の交流が、今では特別な戦略的パートナーシップと呼び合う緊密な日豪関係の基礎となっており、そうしたカウラ市民の善意を讃える趣旨から、本年8月に日本の外務大臣からカウラ市に対して外務大臣表彰を授与し、先般、ポール・スミス市長、ビル・ウエスト前市長兼日本庭園理事長、そしてカウラ市を含むクータマドラ選挙区選出のステファニ・クック NSW 州下院議員をはじめとするカウラ市代表の方々を公邸にお招きして、私から表彰状をお渡ししました。クック議員の招待について付言すると、この9月にNSW州議会に日本友好議連が立ち上がり、その共同議長（もう一人はロッド・ロバーツ上院副議長）に就かれたからです。同議連の発足式には多くの議員が参加しましたが、カウラ出身のクック議員が共同議長に就くことに出席議員全員からの賛同がありました。私もその場に同席しましたが、日本の特定の市ではなく日本全体との懸け橋になりたいというカウラ市の考えがよく反映された人選であると思いつつ、議連立ち上げを心よりお祝い申し上げました。



カウラ市への外務大臣表彰のポール・スミス市長への授与



カウラ日本人戦争墓地での慰霊式



カウラの日本庭園



NSW 州議会日本友好議連発足式

こうして日本と縁の深い豪州の各都市を回中で、日豪関係は貿易・投資や安全保障だけではなく、数十年にもわたる姉妹都市交流が両国の相互理解と協力を一層強固なものにしていることを実感しました。

冒頭申し上げたとおり、NSW州と日本の間には39の姉妹都市関係があります。姉妹都市関係の成立のきっかけは様々で、戦後和解に向けた取組から始まり、経済関係、共通する環境、日豪の国際親善を目指す自治体の関係者の熱意などが挙げられます。なお、自治体国際化協会（クレア）では、統計処理の都合上、特定の分野に限らない交流促進について、両首長による提携書があり、議会の承認を得ている場合に「姉妹（友好）自治体」として取り扱うこととしているとのことですが、これ以外に特定の分野で友好交流を育んでいる都市関係もあります。

来年は日豪友好協力基本条約が締結されて50周年にあたります。この条約は経済関係から両国の相互理解と協力を広げていくことを目指し、締結されたもので、両国で色々なイベントが検討されています。

こうした背景の下、今後、NSW州の自治体と日本の自治体との40番目の姉妹都市関係の提携が実現すれば大変にうれしいことであり、国際親善に意欲を示す日本の自治体からも御相談頂いています。皆様が住んでおられるNSW州の自治体が日本の自治体と姉妹都市提携をまだ結んではいないが、日豪親善に関心が高そうでしたら、当館(japaneseconsulate@sy.mofa.go.jp)ないし自治体国際化協会シドニー事務所(mailbox@jlgc.org.au)まで、お知らせ願えれば幸いです。

【参考：NSW州との姉妹都市一覧】

NSW州との姉妹都市一覧(39件)

2020年4月
(財)自治体国際化協会

自治体	提携自治体	提携年月日	自治体	提携自治体	提携年月日
東京都	NSW州	1984.10.27	東京都 江戸川区	セントラル・コースト市 ※6	1988.4.19
北海道 函館市	レイクマッコリー市	1992.7.31	神奈川県 川崎市	ウーロンゴン市	1988.5.18
北海道 士別市	ゴールバーンマルワリー市	1999.7.3	神奈川県 湯河原町	ポートスティーブン市	1998.11.13
青森県 三戸町	タムワース市	2001.7.5	富山県 富山市	ダボ市 ※7	1992.8.24
山形県 高島町	シングルトン市	2005.10.2	石川県 白山市	ペンリス市	1989.11.10
福島県 泉崎村	テモラ市	1989.7.22	山梨県 南アルプス市	クインビヤン・パレラン市 ※8	1992.10.9
福島県 棚倉町	レイクマッコリー市	1994.5.12	岐阜県 美濃加茂市	ダボ市 ※9	1989.6.2
福島県 矢祭町	ベイサイド市 ※1	2000.5.15	静岡県 藤枝市	ペンリス市	1984.11.3
福島県 大熊町	バサースト市	1991.3.25	愛知県 名古屋市中区	シドニー市	1980.9.16
茨城県 牛久市	オレンジ市	1990.7.28	愛知県 半田市	ポートマッコリー市	1990.4.14
群馬県 草津町	スノーウィ・モナロ市 ※2	1991.7.10	京都府 京丹波町	ホークスベリー市	1988.6.7
栃木県 鹿沼市	アーミデール市 ※3	2001.4.19	大阪府 吹田市	カンタベリー・バンクスタウン市 ※10	1989.3.9
埼玉県 秩父市	ノーザンビーチズ市 ※4	1996.4.26	大阪府 忠岡町	ノーザンビーチズ市 ※11	1995.11.21
埼玉県 越谷市	キャンベルタウン市	1984.4.11	兵庫県 三木市	フェデレーション市 ※12	1997.4.11
埼玉県 戸田市	リバプール市	1992.10.1	兵庫県 三田市	ブルーマウンテンズ市	1988.8.30
千葉県 館山市	ポートスティーブン市	2000.2.11	奈良県 大和高田市	リズモア市	1963.8.7
千葉県 柏市	キャムデン市	1997.4.11	山口県 宇部市	ニューカッスル市	1980.11.21
東京都 中央区	サザランド市	1991.7.9	長崎県 佐世保市	コフスハーバー市	1988.6.6
東京都 台東区	ノーザンビーチズ市 ※5	1982.8.14	熊本県 山鹿市	スノーウィ・モナロ市 ※13	1975.11.5
東京都 杉並区	ウィロビー市	1990.5.11			

地方自治体合併前の名称

※1 ロックデイル市
※2 スノーウィ・リバー市
※3 アーミデール・デュマレク市
※4 フリンガ市
※5 マンリー市

※6 ゴスフォード市
※7 ウェリントン市
※8 クインビヤン市
※9 ダボ 地域市
※10 バンクスタウン市

※11 ビットウオーター市
※12 コロワ市
※13 クーマ・モナロ市

(全豪107件のうち、39件がNSW州)